

企画部会（平成22年度第4回）

議事録

2010年11月10日（水）開催

時間	15:00～17:00		場所	地盤工学会会議室	
谷部長		峯田理事			
浅田部員	×	工藤部員		佐々部員	×
杉本部員		濱田部員		堀越部員	
事務局：戸塚		事務局：浅野			

：出席 ×：欠席 ：未定

【議題】

議事録担当者の選出 工藤部員

1. 前回議事録の確認（峯田理事） 【別紙 1】pp.1-2
 - ・承認された。

2. 男女共同参画・ダイバーシティ委員会(以下、ダイバーシティ委と略)の活動予定
(杉本部員、工藤部員) 【別紙-2】p.3
 - ・ダイバーシティ委の今後2年間のミッションにつき説明があった。
 - ・企画部とダイバーシティ委の情報共有のため、お互いの議事録をやりとりする。
 - ・活動予定に対し、以下の意見が出た。
 - ・サポータは会員、非会員問わず募集するのが良い。
 - ・エントリーの際に、専門ないし興味のある技術分野に関する情報を収集し、委員の推薦時に活用する。
 - ・非会員の女性技術者について、支部のネットワークを介してデータベースを充実させる。
 - ・表彰制度は、基準を設けるのが難しい。「感謝状」も考えられる。

3. 資格・認定制度の検討(濱田部員) 【別紙 3】pp.4-14
 - ・次回の理事会で予備審議してもらい、年度末までに最終報告書を提出することとした。
 - ・答申書(案)の修正は19日までに行う。
 - ・技術士会へ新たな技術部門を作るべく働きかけるというのはどうか。
 - ・既往の資格への“協力”の方法について、今後検討をする。
 - ・次の2点については、これまでに同様の実績があり、企業にとってもメリットがあると考えられる。答申書(案)の「3.導入」に加筆する。
 - ()工法、技術の認証・認定。
 - ()技術認証の中にマニュアル作成を含めること。

4. 2009 中長期ビジョンのアクションプランの検討(峯田理事) 【別紙 4】pp.15-17
 - ・別紙 p.16、「4.健全な財政基盤の確立」につき、「10年後の6000人体制～」の文言を、「長期的～」に変更する。
 - ・年内を期限として、目標の設定を各部に依頼することとした。

5. 地盤工学会の発展史とアカデミック・ロードマップの検討(谷部長)
 - ・人物史については事業部から予算が提出されている。発達史との兼ね合いにつき調整が必要である。
 - ・配布資料の内容につき、4点の意見があった。
 - ・50名程度の委員会とするのであれば、幹事(10人以下)と、確認のための専門委員(40名)の二重構造が良い。
 - ・幹事には、政策決定に係わる国の機関の人間を入れるのが望ましい。

- ・ 発展史と人物史の扱いについて、
発展史になかにコラム的に人物史を入れる
人物史と発展史を分ける
方法がある。まとめるのは のほうが簡単だが、読者からすると、 のほうが読みやすい。
- ・ まとめる資料のボリュームに対し活動期間2年は長いので、1年程度がよい。

6 . 平成 22 年度地盤工学会賞候補の推薦 (峯田理事)

- ・ 企画部からの推薦を確認した。
 - 1) 推薦業績名 : 男女共同参画に関する取り組み 【別紙 5】 pp.18-19
 - 2) 推薦審査員 : 峯田一彦理事

7 . 平成 23 年度企画部関係予算案

【別紙 6】 pp.20-22

- ・ 平成 22 年 10 月 29 日に提出したものを確認した。

8 . その他

- ・ 広報からの英文 HP の作成依頼につき、「職務」を英文にする。浅田部員に依頼。
- ・ 常設委員会の HP に対する会長の依頼について、次の対応を行う。
 - 「規定」は規約の該当箇所にリンクを貼る。
 - 「歴代委員リスト」については、一覧表を載せる。
 - 「今年度活動計画」については、記載する。
 - 「議事録」「今後の予定」は、従来から載せているため、問題なし。
 - 「意見の受付」については、企画部単独の窓口は設けず、従来の窓口に届いたものを適宜割り振ってもらうこととする。

8 . 次回開催日の確認

- ・ 平成 23 年 1 月 14 日 (金) 10:30 ~ 12:00

8 . 次回理事会への提案事項

- ・ 審議事項 : 資格・認定制度の検討について予備審査
地盤工学会の発展史とアカデミック・ロードマップに関する事項
- ・ 報告事項 : 2009 中長期ビジョンのアクションプランの目標設定について記入を依頼

- 以上